

市の動き

(2月11日～3月10日)

2月12日(日)

今、私たちが問い直したいものを、テーマにした市の婦人大会が、中央公民館で開かれる。250人余りの参加者は、婦人問題に関し評論活動をしている講師の武田京子さん(東京都在住)の講演「これからの女性の生きかた」などを聞く。

2月19日(日)

博物館で「わら細工教室」が開かれる。この教室には市内の小学校5年生24人が参加、わらじ作りになろう戦。

2月20日(月)

住民記録の電算化と電送装置の稼働が市役所で行われる。

2月27日(月)

2月6日に設置された雪害対策本部が21日ぶりに解散される。

3月1日(木)

県立豊栄高等学校で15回目の卒業式が行われる。今年の卒業生は、普通科商業科合わせて271人。

3月5日(月)

市議会3月定例会始まる。会期は27日までの23日間。

3月6日(火)

中央公民館の1階に身障者用トイレが完成。市の施設としては相生荘に次いで2番目。



ひとこと インタビュー



お客さんが気に入るように

小池淑子^{とくこ}さん(笹山、二六歳)

小池さんは美容師として、五十七年七月から川西二丁目の美容院で働いています。

「生まれたのは新潟なんですが結婚して豊栄に来ました。美容師の仕事をして十年位になります。仕事は大変ですが好きですから。お客さんと気持ち良く接して、その人に合った髪型にするように心掛けています。終わった後、喜んでもらえたりするとうれしいです

ね。毎週火曜日が定休日なんです。が、子供が生まれたばかりなので、あまり出掛けられません。休みは一週間分の家の仕事をやるとちようどいいですね。今は、与えられた仕事を一生懸命やることだけを考えています」

表紙のことば



保母さんから赤いリボンと口紅を付けてもらった女の子。おひなさまの前で、男の子と一緒に歌ったり、ごちそうを食べたりしてお祝いをしました。園の中は、一足早く春が訪れた感じでした。

編集室



▽ 自分の選んだ道へ旅立つ、豊高の卒業生を取材しました。最近の子どもは過保護などとよく言われています。しかし、インタビューを通じて、それぞれが社会人としての心構えや人生設計をしっかりともっているのに感心させられました。道中の苦難に耐え、力強く生きて欲しいものです。

▽ 自治会長さんあての文書配布日を変更するため、来月から広報とよさかかを毎月十五日に発行します。